

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-002602

(43)Date of publication of application : 07.01.1997

(51)Int.Cl.

B65F 1/00  
B65F 1/14

(21)Application number : 07-180717

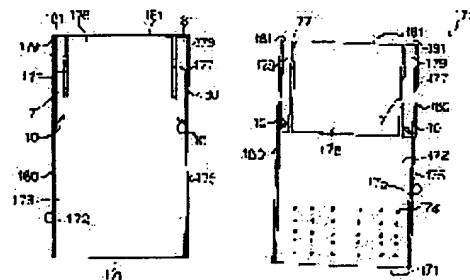
(71)Applicant : NAKATANI SUSUMU  
NAKATANI MIDORI

(22)Date of filing : 25.06.1995

(72)Inventor : NAKATANI SUSUMU  
NAKATANI MIDORI**(54) LEFTOVER FOOD ACCOMMODATION BAG FITTED WITH COVER, AND LEFTOVER FOOD ACCOMMODATION APPLIANCE****(57)Abstract:**

**PURPOSE:** To suppress the diffusion of bad odor by covering the opening of a leftover food accommodation bag without polluting a sink with leftover food.

**CONSTITUTION:** A front part 172 is provided by folding a sheet forward from a fold 171 constituting the bottom, and a rear part 173 is provided by folding it rearward from the fold 171, and a water draining hole 174 is provided at the lower part of the front part 172, and the accommodation bag body 175 is made of the front part 172 and the rear part 173. A member is extended from the rear part 173 so as to make a cover 176, and the part 173 is folded frontward and downward at a fold 181 to cover the front part 172. The right and left sides of the cover 176 are separated from 176 to make a first band 178 and a second band 179, and the bands 178 and 179 are joined at junctions 10 and 10 to the upper part of an accommodation bag body 175. Furthermore, for the front part 172, the rear part 173, the first band 178, and the second band 179, the sides are joined at junctions 180 and 180.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-2602

(43) 公開日 平成9年(1997) 1月7日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 F	1/00		B 6 5 F	L
	1/14			A

審査請求 未請求 請求項の数9 F D (全 17 頁)

(21) 出願番号 特願平7-180717

(22) 出願日 平成7年(1995) 6月25日

(71) 出願人 000212599

中谷 進

山梨県中巨摩郡櫛形町吉田898番地7-6号

(71) 出願人 593121243

中谷 みどり

山梨県中巨摩郡櫛形町吉田898番地7-6号

(72) 発明者 中谷 進

山梨県中巨摩郡櫛形町吉田898番地7-6号

(72) 発明者 中谷 みどり

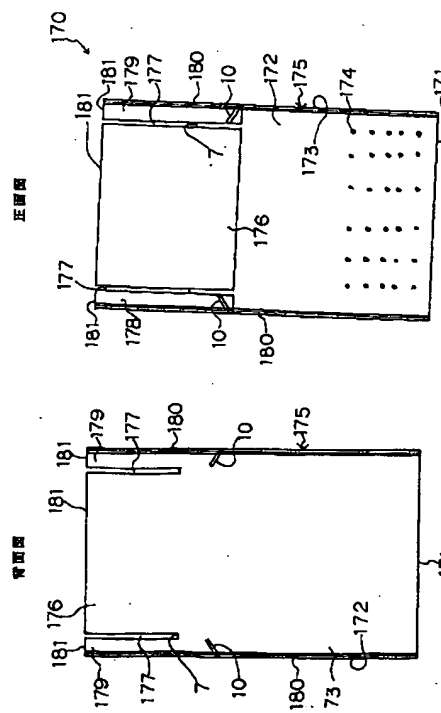
山梨県中巨摩郡櫛形町吉田898番地7-6号

(54) 【発明の名称】 覆部付残飯収納袋及び残飯収納器具

(57) 【要約】

【目的】 流し台を残飯で汚さず残飯収納袋の開口部を覆い臭気の放散を抑制する覆部付残飯収納袋の提供にある。

【構成】 底部を構成する折部171から前方に折り畳たまれて前部分172が設けられ、折部171から後方に折り畳まれた後部分173が設けられ、前部分172の下方には水切り穴174が設けられ、前部分172と後部分173により収納袋本体175が構成されている。後部分173から部材が延長されて覆部176を形成し、該176は適宜な部分で折部181を設けて前下方に折り畳まれて前部分172に被さるようになっている。覆部176の左右側部は該176より分離されて第1の帯部178、第2の帯部179を形成し、該178、179は接合部10、10により収納袋本体175の上方に接合されている。さらに、前部分172と後部分173と第1の帯部178、第2の帯部179は、その側部を接合部180、180により接合してなっている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 残飯収納器具に収納されあるいは取り付けられて使用される残飯収納袋であって、  
残飯を収納する収納袋本体と、  
この収納袋本体の開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部と、からなることを特徴とする覆部付残飯収納袋。

【請求項2】 残飯収納器具に収納されあるいは取り付けられて使用される残飯収納袋であって、  
残飯を収納する収納袋本体と、  
この収納袋本体と一体成形された、収納袋本体の該開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部と、からなることを特徴とする覆部付残飯収納袋。

【請求項3】 残飯収納器具に収納されあるいは取り付けられて使用される残飯収納袋であって、  
残飯を収納する収納袋本体と、  
この収納袋本体の開口部上の後方側に形成された、収納袋本体の該開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部と、からなることを特徴とする覆部付残飯収納袋。

【請求項4】 残飯収納器具に収納されあるいは取り付けられて使用される残飯収納袋であって、  
残飯を収納する収納袋本体と、  
この収納袋本体の開口部上に両側部が分離されて形成された、該収納袋本体の該開口部に被せ覆うことができる前方に位置する第1の覆部、前記収納袋本体の前記開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる後方に位置する第2の覆部と、からなることを特徴とする覆部付残飯収納袋。

【請求項5】 残飯収納器具に収納されあるいは取り付けられて使用される残飯収納袋であって、  
残飯を収納する収納袋本体と、  
この収納袋本体の開口部の上部に対向して形成された第1の帯部、第2の帯部と、  
この第1の帯部、第2の帯部の間に設けられた、該収納袋本体の前記開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部と、  
この覆部と前記収納袋本体の間に設けられた、該覆部を該収納袋本体から容易に分離するための分離部と、からなることを特徴とする覆部付残飯収納袋。

【請求項6】 残飯収納器具に収納されあるいは取り付けられて使用される残飯収納袋であって、  
残飯を収納する収納袋本体と、  
この収納袋本体の上部に両側部を分離して該収納袋本体と一体的に成形された、前記収納袋本体の前記開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部と、  
この覆部の上部を接合してなる接合部と、  
前記覆部と前記収納袋本体の間に設けられた、該覆部を

該収納袋本体から容易に分離するための分離部と、からなることを特徴とする覆部付残飯収納袋。

【請求項7】 収納袋が、収納袋本体の開口部上部左右に第1の帯部、第2の帯部が設けられ、前記開口部下方を狭めるために該開口部の下方を接合部、接合部により接合してなることを特徴とする請求項1、2、3、4、5又は6記載の覆部付残飯収納袋。

【請求項8】 収納袋本体の前部分に水切り穴を設け、該収納袋本体の後部分に水切り穴を設けないことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6又は7記載の覆部付残飯収納袋。

【請求項9】 収納器具本体と、  
この収納器具本体の開口部や該収納器具本体の後方から流し台に被せ覆うための覆部を固定するための固定手段と、からなることを特徴とする残飯収納器具。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、残飯などを収納するための覆部付残飯収納袋及び残飯収納器具に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のものとして図23及び図24に示す、残飯などに投入する開口部140を形成するリング状の開口枠141、この開口枠141を流し台に固定するための吸着盤部142からなる残飯収納器具143があった。そして、残飯収納器具143の開口枠141に取り付け下げる上部が開口し下方に多数の水切り穴2をあけた収納袋本体3と、この収納袋本体3の上方を開口枠141の外周径より狭めるために形成した接合部10、10と、収納袋本体3の上部両端に形成された収納袋本体3の開口部7を結び塞ぐための第1の帯部5、第2の帯部6とからなる残飯収納袋144があった。図23及び図24に示す残飯収納袋144は、接合部10、10が残飯収納器具143の開口枠141の外側下に位置し、収納袋本体3は開口枠141の内側を覆い下に垂れ下がっていて、収納袋本体3は下に引っ張られても接合部10、10が開口枠141に止められて抜け落ちないようになっている。また、開口部を塞ぐ蓋を開口枠と一体的に設けたものがあった。また、残飯収納袋の水切り穴は、収納袋本体の前部分と後部分の両方にあけられていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 前記で述べた従来技術のものは、投げ入れる残飯が開口部に旨く入らない場合があり、その結果、吸着盤や吸着盤周りや収納袋裏側の流しが残飯で汚れてしまうという問題があった。また、収納袋に収納した残飯が見えてしまい、汚い印象をあたえ不快なものであった。また、残飯が収納袋に一杯になるまで放置することが多く、残飯が臭気を放し生活を不快なものにするという問題も生じていた。また、開口部を塞ぐ蓋を設けたものは、投げ入れる残飯が蓋に付き蓋

が汚れてい不潔になるという問題があったし、洗うのが面倒でもあった。本発明は、以上のような従来の技術の持つ問題点に鑑みてなされたものであり、その目的は、吸着盤や吸着盤とその周りや収納袋裏側の流し台を残飯で汚れないようにでき、さらに残飯収納袋の開口部を覆い残飯を見えなくしたり臭気の放散を抑制することのできる覆部付残飯収納袋及び、覆部を固定することのできる手段を持った残飯収納器具を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】以上のような従来技術の持つ問題点を解決するために、本発明の覆部付残飯収納袋は次のような構成となっている。

（解決手段1） 残飯収納器具に収納されあるいは取り付けられて使用される残飯収納袋であって、残飯を収納する収納袋本体と、この収納袋本体の開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部と、からなっている。請求項1では、覆部が収納袋本体とは別に設けられたもの、収納袋本体と一体成形されて分離されたもの、収納袋本体と一体成形され該収納袋本体に付いた状態のまま使用するもの、収納袋本体と一体成形され使用時に分離して使用するもの、収納袋本体に別に成形したものを取り付けしたものなど等が含まれるものである。

（解決手段2） 覆部が収納袋本体と一体成形されてなるものもよい。

（解決手段3） 覆部が収納袋本体の開口部上の後方側に形成されてなるものもよい。

（解決手段4） 収納袋本体の開口部上に両側部が分離されて形成された、該収納袋本体の該開口部に被せ覆うことができる前方に位置する第1の覆部、前記収納袋本体の前記開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる後方に位置する第2の覆部とを設けてなるものもよい。

（解決手段5） 収納袋本体の開口部の上部に対向して形成された第1の帯部、第2の帯部と、この第1の帯部、第2の帯部の間に設けられた、該収納袋本体の前記開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部と、この覆部と前記収納袋本体の間に設けられた、該覆部を該収納袋本体から容易に分離するための分離部とからなるものもよい。

（解決手段6） 収納袋本体の上部に両側部を分離して該収納袋本体と一体的に成形された、前記収納袋本体の前記開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部と、この覆部の上部を接合してなる接合部と、前記覆部と前記収納袋本体の間に設けられた、該覆部を該収納袋本体から容易に分離するための分離部とからなるものもよい。本明細書でいう接合及び接合部は、溶融することによって互いに着き合わせる融着接合が一般的であるが、この融着接合のみに限定するものではない。

（解決手段7） 前記解決手段1、2、3、4、5又は6記載の覆部付残飯収納袋において、リング状の開口枠とこの開口枠を支持する吸着盤部等の支持手段とを有する残飯収納器具の該開口枠に取り付けて使用する残飯収納袋であって、収納袋が、収納袋本体の開口部上部左右に第1の帯部、第2の帯部が設けられ、前記開口部下方を狭めるために該開口部の下方を接合部、接合部により接合してなるものもよい。本発明の残飯収納器具は次のような構成となっている。

（解決手段8） 収納袋本体の前部分に水切り穴を設け、該収納袋本体の後部分に水切り穴を設けなる覆部付残飯収納袋もよい。

（解決手段9） 収納器具本体と、この収納器具本体の開口部や該収納器具本体の後方から流し台に被せ覆うための覆部を固定するための固定手段とからなっている。固定手段には、磁石によるもの、クリップ式のもの、覆部の一部をはめ込むものなどいろいろである。

【0005】

【作用】本発明は、以上のような構成となっているので、次に述べるように作用する。

（解決手段1）の覆部付残飯収納袋

覆部が収納袋本体と分離してなるものは、例えば、覆部の下半分くらいを残飯収納器具に収納し残りの上方を残飯収納器具の外にして、収納袋本体を残飯収納器具に収納する。また、覆部が収納袋本体と一体となっているものは、覆部が外側になるように残飯収納器具に収納袋本体を収納する。以上のようにして、残飯を収納袋に投入するときは覆部を残飯収納器具後方の流し台に被せ覆うように広げる。残飯収納器具の外側に溢れた残飯は広げた覆部の上に落ち、残飯収納器具の後ろの流しや流し台を汚すことがない。特に吸着盤で開口枠を支持する残飯収納器具は、吸着盤やその部材を覆部で覆うことができ残飯で汚すことがなく快適である。残飯の投入後は、覆部を収納袋本体の開口部に被せ該開口部を覆う。残飯を見えないようにするとともに臭気の放散を抑制する。

（解決手段2）の覆部付残飯収納袋

前記解決手段1のものと同じ作用なので説明を省略する。

（解決手段3）の覆部付残飯収納袋

前記解決手段1のものと同じ作用なので説明を省略する。

（解決手段4）の覆部付残飯収納袋

収納袋本体を残飯収納器具に収納し、第2の覆部を流し台に被せ覆い、第1の覆部を残飯収納器具の前に垂れ下げ残飯を収納袋本体に投入する。残飯投入後は第2の覆部を収納袋本体の開口部に被せ該開口部を覆う。第1の覆部は収納袋本体の前部に濡れることにより張り付き水切り穴等を塞ぎ、前方の水切り穴からの臭気の放散を抑制する。

（解決手段5）の覆部付残飯収納袋

覆部を収納袋本体から分離し、収納袋本体を残飯収納器具に収納あるいは取り付ける。分離した覆部の下方を収納袋本体に収納し、該覆部の上方を流し台上に被せ覆い、収納袋本体に残飯を投入する。残飯投入後は覆部を収納袋本体の開口部に被せ該開口部を覆う。第1の帯部と第2の帯部を縛り開口部を塞ぎ廃棄する。

(解決手段6)の覆部付残飯収納袋

覆部を分離部で収納袋本体から分離し、接合部で覆部を一枚シートに広げる。収納袋本体を残飯収納器具に収納あるいは取り付ける。広げた覆部の下方を収納袋本体に収納し、該覆部の上方を流し台上に被せ覆い、収納袋本体に残飯を投入する。残飯投入後は覆部を収納袋本体の開口部に被せ該開口部を覆う。

(解決手段7)の覆部付残飯収納袋

開口枠に収納袋本体を接合部、接合部が該開口枠の外側となり、収納袋本体によって開口枠が覆われ該収納袋本体が該開口枠内側から吊り下げられるように取り付け。覆部が収納袋本体から分離させるもの、分離してなるものは、収納袋本体を開口枠に取り付ける前に、開口枠後方内側に収納袋本体の下方を収納し、その上に収納袋本体を取り付ける。残飯を投入する場合は、覆部を後方に広げ開口枠を略水平に支持する吸着盤部等の支持手段と流し台を覆うようにして行なう。残飯投入後は覆部を収納袋本体の開口部に被せ該開口部を覆う。第1の帯部と第2の帯部を縛り開口部を塞ぎ廃棄する。

(解決手段8)の覆部付残飯収納袋

収納袋本体の前部分を覆部で開口部とともに覆うことにより、水切り穴と開口部のほとんどを塞ぐことができ、残飯の臭気の放散をより確実に防止できる。前部分も覆部は当然水で濡れるので、水が切れれば前部分に覆部が張り付き確実に水切り穴を塞ぐのである。

(解決手段9)の残飯収納器具

収納袋本体と共に取り付けたり収納した覆部を、流し台上に広げた状態を磁石などからなる固定手段により流し台上でずれたりしないように固定する。覆部が収納袋本体から分離している場合、先に覆部の上方を流し台に固定手段により固定しておいて収納袋本体を収納でき、大変覆部の取付が行ない易くでき便利である。特に流し台の使用条件によっては、流し台の縦壁に覆部を固定しなければならぬが、固定手段を用いることにより容易に縦壁に固定できるようになる。

【0006】

【実施例】本発明の実施例を図面を参照しながら説明する。ただし、この実施例に記載されている構成部品の寸法、材質、数、その相対配置などは、特に特定の記載がないかぎり、本発明の範囲をそれらのみに限定する趣旨のものではなく、単なる説明例にすぎない。

【0007】実施例1

図1は本発明の実施例1を示す残飯収納袋の説明図、図2は同じ実施例1の使用状態を示す斜視図である。残飯

収納袋1は、ポリエチレン製部材の袋からなっていて、下方に水切り穴2を設けた収納袋本体3の上方が融着等により接合された上部接合部4となっていて、上方左側に第1の帯部5、右側に第2の帯部6を残して中程を切り離して開口部7が形成されるようになっている。この中程の切り離す部分は覆部8となる。9は底部を形成する底部接合部。10、10は開口部7の下方を狭めるための接合部である。11、11は連結部。12は分離部。図2において、残飯収納器具13は次のような構成となっている。リング状の開口枠14を吸着盤15を具備した吸着盤部16が腕部17で水平に支持するようにして、吸着盤部16の頭部には磁石18をくっつけるための鉄板などからなる磁石くっつけ部19（頭部に磁石を設けるのもよいことは言うまでもない。）が設けられてなっている。流し台に吸着盤15を吸着取付て吸着盤部16を流し台に固定し開口枠14を流し内に水平に保持する。覆部8を収納袋本体3から切り離す。覆部8を広げ、開口枠14の内側の吸着盤部16側にその一部を垂らし残りを流し台から吸着盤部16に被せ覆い、磁石18を覆部8の上から磁石くっつけ部19にくっつけて覆部8を固定する。（磁石くっつけ部19は必ずしも必要ではなく、流し台に磁石18により固定すればよい。）

開口枠14に収納袋本体3を接合部10、10が開口枠14の外側となり、収納袋本体3によって開口枠14が覆われ収納袋本体3が開口枠14内側から吊り下げられるように取り付け。覆部8の開口枠14内に垂れた部分は収納袋本体3の開口部7によって開口枠14に抑え固定される。残飯を投げ入れるときは、覆部8を流し台と吸着盤部16に被せ覆うことにより、投げ入れられる残飯が残飯収納器具13の裏側に落ちるのを防げるし、吸着盤部16が残飯で汚れることもない。残飯投入後は覆部8を開口枠14及び収納袋本体3の開口部に被せ覆い臭気の放散を抑制し残飯を見えなくする。帯部5、6は残飯を廃棄する際に、帯部5、6を指で摘み上げ開口枠14から収納袋本体3の上部を外し残飯収納器具13から抜き出し、帯部5、6を縛り開口部7を密封し廃棄する。本実施例の技術的思想は、収納袋の上方を接合し上方の一部あるいは全部を切り離し覆部として使用することにある。これにより、最小限の材料で覆部を得ることができ、また、左右に帯部を設けた残飯収納袋にあっては、従来屑となっていた部分を覆部として有効に利用することになり、生産性を高める。以下で述べる実施例の説明にあたって、本実施例と同じ構成には同じ符号を付しその説明を省略する。

【0008】実施例2

図3は本発明の実施例2を示す残飯収納袋の説明図、図4は同じ実施例2の使用状態を示す斜視図である。残飯収納袋30は、ポリエチレン製部材の袋からなっていて、下方に水切り穴2を設けた収納袋本体3の上方左側

に第1の帯部31、右側に第2の帯部32を残して中程を切り離して開口部7が形成されるようになっている。この中程の切り離す部分は覆部8となり、この覆部8の上部は接合された接合部33となっている。図4において、残飯収納器具34は下方と底部に多数個の水切り穴38を設けた三角容器体からなる収納器具本体35と棒状の磁石36（磁石でなく少し重めの文鎮状のものでもよい。）からなっている。37は開口部。流し内に残飯収納器具34を置く。覆部8を収納袋本体3から切り離し広げて、残飯収納器具34内にその一部を垂らし、残りの部分を流し台上に広げ磁石36を置き固定する。残飯収納器具34に残飯収納袋30の収納袋本体3を収納し開口部7を収納器具本体の開口部37に被せ覆う。残飯を投げ入れ収納する。残飯を投げ入れるときは、覆部8を流し台に被せ覆うことにより、投げ入れられる残飯が残飯収納器具34の裏側に落ちるのを防げるし、流し台を残飯で汚すこともない。残飯投入後は、覆部8を開口部7及び開口部37に被せ覆い臭気の放散を抑え、残飯を見えないように覆い隠す。

#### 【0009】実施例3

図5は本発明の実施例3を示す残飯収納袋の説明図、図6は同じ実施例3の使用状態を示す斜視図である。残飯収納袋40は、収納袋本体3の上方の左右側部がカットされ分離して、前後に別れる覆部41、42が設けられた構成となっている。流し内に残飯収納器具34を置く。残飯収納器具34に残飯収納袋30の収納袋本体3を収納し開口部7を収納器具本体の開口部37に被せ覆い、覆部41を流し台に被せ磁石36で固定し、覆部42を収納器具本体35の外側前部に垂らし下げる。残飯を投げ入れ収納する。残飯投入後は、覆部8を開口部43及び開口部37に被せ覆い臭気の放散を抑え、残飯を見えないように覆い隠す。

#### 【0010】実施例4

図7は本発明の実施例4を示す残飯収納袋の説明図である。残飯収納袋50は次のような構成となっている。収納袋本体3の最上部が接合された上部接合部51となっていて、該3の上部左右の側部が切り離された側部分離部52、52となっていて、この側部切り離し部52、52の袋部分は覆部53となっていて収納袋本体3から容易に切り離されるよう分離部54が形成され、連結部55、55により覆部53と収納袋3が連結された構成となっている。使用方法是帯部を除いて実施例2のものと同じなので説明を省略する。

#### 【0011】実施例5

図8は本発明の実施例5を示す残飯収納袋の説明図である。残飯収納袋60は、ポリエチレン製部材の袋からなっていて、下方に水切り穴2を設けた収納袋本体3の上方左側に第1の帯部61、右側に第2の帯部62を設け、残った中部分を切り離して開口部7が形成されるようになっている。この中部分の切り離す部分は覆部63

となっていて、下部が接合された接合部64となっていて、両側部が分離した分離部65、65となっていて、頭部も分離した分離部66となっている。接合部64は覆部63の左右いずれかの側部である場合もよいことはいうまでもない。この場合覆部の頭部と下部と一方の側部を切り離しておくことはいうまでもない。使用方法是実施例1のものと同じなので説明を省略する。

#### 【0012】実施例6

図9は本発明の実施例6を示す残飯収納袋の説明図、図10は同じ実施例6の使用状態を示す側面図、図11は同じ実施例6の他の使用状態を示す側面図である。残飯収納袋70は、収納袋本体3の上方左側に第1の帯部61、右側に第2の帯部62を設け、その中部分から該61、62の上方に設けられた凸形状の覆部71が該3と一体成形にて設けられている。覆部71は収納袋本体3から容易に切り離されるよう分離部72が設けられて数箇所の連結部73によって連結されている。さらに、覆部71の下部は接合部74により接合され、左右の側部及び上部は分離部81により切り離され第1の覆部82、第2の覆部83を形成してなっている。10、10は開口部7の下方を狭めるための接合部である。図10において、残飯収納器具75は、吸着盤76を設けた吸着盤部77と、この吸着盤部77と開口枠78を連絡する腕部79と棒磁石80からなっていて、吸着盤部77は90度に角度を変え状態で固定できるようになっている。残飯収納器具75の吸着盤部77を縦にして流し台の壁に取り付け、開口枠78を水平に流し内に支持している。収納袋本体3から覆部71を切り離し棒磁石80で流し台の壁に上部を固定する。覆部71の接合部74側の下方を開口枠14の内側に垂らし、収納袋本体3を開口枠78に取り付け覆部71の下方を開口枠78に固定する。覆部71は第1の覆部82、第2の覆部83が重なった状態となっているので、図10のごとく第2の覆部83を棒磁石80で吸着盤部77を覆うように持ち上げ固定し、第1の覆部82は開口部81、開口部7を被せ覆うようにする。図11において、残飯収納器具75の吸着盤部77を横にして流し台に取り付け、開口枠78を水平に流し内に支持している。覆部71を一枚に広げ、一方の略端側を吸着盤部77を覆うようにして棒磁石80で固定する。覆部71は吸着盤部77と流し台を覆い、開口部81、開口部7を覆い、更に収納袋本体3の前方に垂れ下がるようになっている。

#### 【0013】実施例7

図12は本発明の実施例7を示す残飯収納袋の説明図、図13は同じ実施例7の使用状態を示す斜視図、図14は同じ実施例7の他の使用状態を示す側面図である。残飯収納袋90は、収納袋本体3の上方左側に第1の帯部61、右側に第2の帯部62を設け、その中部分から該61、62の上方に設けられた凸形状の覆部91が該3と一体成形にて設けられている。覆部91は第1の帯部

61、右側に第2の帯部62と分離部92によって分離されていて、第1の覆部93、第2の覆部94からなっている。図13において、残飯収納器具13を以下のように流し台に取り付けている。流し台に吸着盤15を吸着取付て吸着盤部16を流し台に固定し開口枠14を流し内に水平に保持する。残飯収納袋90を開口枠14に取り付ける。第1の覆部93は収納袋本体3の前方に垂らし、第2の覆部94は吸着盤部16を覆うようにして被せ磁石18により固定する。図14において、残飯収納器具75の吸着盤部77を垂直にし流し台に取り付け、開口枠78を水平に流し内に支持し、残飯収納袋90を開口枠78に装着している。

#### 【0014】実施例8

図15は本発明の実施例8を示す残飯収納袋の説明図、図16、17は同じ実施例8の使用状態を示す斜視図である。残飯収納袋100は、収納袋本体3の上方左側に第1の帯部61、右側に第2の帯部62を設け、その中部分から該61、62の上方に設けられた凸形状の覆部101が該3と一体成形にて設けられている。覆部101は収納袋本体3から容易に切り離されるよう分離部72が設けられて数箇所の連結部73によって連結されている。図16及び図17において、残飯収納器具75の吸着盤部77を垂直にし流し台に取り付け、開口枠78を水平に流し内に支持し、切り離した覆部101を吸着盤部16を覆うようにして被せ磁石18により固定し、その下方を開口枠78内に垂らし、収納袋本体3を取り付ける。

#### 【0015】実施例9

図18は本発明の実施例9を示す残飯収納袋の説明図、図19は同じ実施例9の使用状態を示す斜視図である。残飯収納袋110は、収納袋本体3の上方左側に第1の帯部61、右側に第2の帯部62を設け、底部に収納袋本体3と一体成形されて連結部111により連結される凸形状の覆部112が設けられている。覆部112は容易に切り離されるよう分離部113が設けられている。覆部112の突出部分は第1の帯部61と第2の帯部62を形成して切り捨てられる中部分であって、肩を出さない連続成形を可能にするものである。図19において、残飯収納器具75の吸着盤部77を垂直にし流し台に取り付け、開口枠78を水平に流し内に支持し、切り離した覆部112を吸着盤部16を覆うようにして被せ磁石18により固定し、その下方を開口枠78内に垂らし、収納袋本体3を取り付ける。

#### 【0016】実施例10

図20は本発明の実施例10を示す残飯収納袋の説明図、図21、22は同じ実施例10の使用状態を示す斜視図である。残飯収納袋120は、収納袋本体3と一枚シート部材からなる覆部121からなっている。残飯収納器具122は次のような構成となっている。リング状の開口枠123を流し内に水平に支持するための吸着盤

部124が腕部125で該123と連絡され、該124には吸着盤126が設けられている。更に吸着盤部124の上部には覆部121を固定するための固定手段127が設けられている。この固定手段127ははめ込み穴128と該128にはめ込む杭129からなっている。130は紐である。開口枠123には接合部10、10をもたないストレートな収納袋でも取り付けられるよう、挟み溝131を下部に形成した挟みリング132が付属品として設けられている。図21及び図22において、流し台に吸着盤126を固定し流し内に開口枠123を水平に支持している。覆部121を該121の一部が開口枠123ないに垂れ下がり他の部分で吸着盤部124を覆うように被せ杭129を覆部121上からはめ込み穴128にはめ込み該121を固定し、収納袋本体3を上部で開口枠123を覆うように取り付け、挟みリング132を上から該123にはめ込み収納袋3を固定する。

#### 【0017】実施例11

図25は本発明の実施例11を示す残飯収納袋の説明図である。残飯収納袋150は次のような構成となっている。底部が折部151となっていて、折部151から前方に折り畳まれた前部分153が設けられ、前部分153の後部に重ねられて折部151から後方に折り畳まれた後部分154が設けられ、前部分153と後部分154はその左右端が接合部155、155によって接合されて袋体を構成し、この袋体の下方に水切り穴2が多数個設けられ、以上のごとく残飯を収納する収納袋本体152が構成されている。さらに、後部分154から部材が延長されて覆部156を形成し、該156は適宜な部分で折部157を設けて前下方に折り畳まれてなっている。前部分を構成部材と後部分を構成する部材をそれぞれ重ねて底部と左右両側部を接合しても袋体を形成することができることは言うまでもない。残飯収納袋の後部に覆部が設けられているので、残飯収納器具に該残飯収納袋を装着する作業により覆部も取り付けることができ、操作性が大変よい。また、覆部と収納袋本体は一体的に繋っているもので、覆部が抜け取れたりすることがなく使用感が大変よいものとなる。

#### 【0018】実施例12

図26は本発明の実施例12を示す残飯収納袋の説明図である。残飯収納袋160は次のような構成となっている。ポリエチレンシート部材からなる前部材161の後ろに、同じ部材からなる前部材161よりも縦に長く形成された後部材162が、底部を合わせて該底部方を接続部163で接続し、左右の側部も接続部164、164で接続してなっていて、下方に多数個の水切り穴2が設けられ、前部材162の範囲からなる袋体で収納袋本体165を構成している。後部材163の上方は覆部166となっている。開口部7の下方左右には接合部10、10が設けられている。



## 【0019】実施例13

図27は本発明の実施例13を示す残飯収納袋の正面図と背面図、図28は同じ実施例13の残飯収納袋の斜視図である。残飯収納袋170は次のような構成となっている。底部が折部171となっていて、折部171から前方に折り畳たたまれて前部分172が設けられ、前部分172の後部に重ねられて折部171から後方に折り畳まれた後部分173が設けられ、前部分172の下方には水切り穴174が設けられ、前部分172と後部分173により収納袋本体175が構成されている。後部分173から部材が延長されて覆部176を形成し、該176は適宜な部分で折部181を設けて前下方に折り畳まれて前部分172にある程度被さるようになっている。覆部176の左右側部はある程度の幅が分離部177、177により分離されて、第1の帯部178、第2の帯部179を形成し、該178、179は接合部180、180により収納袋本体175の上方に接合されている。さらに、前部分172と後部分173と第1の帯部178、第2の帯部179は、その側部を接合部180、180により接合してなっている。分離部177、177の幅を大きく取ってあるが、説明上分かり易くするためのもので単なる切り込みであることはいうまでもない。残飯収納袋の前部分に水切り穴を設け後部分には水切り穴を設けていないので、開口部と前部分を覆部で覆うことにより、残飯の臭気の放散をより確実に防止することができる。収納袋の素材が半透明の場合、覆部により前部が二重になるので残飯が見えないほどに隠され、台所から不潔感をなくし衛生的な台所を演出する。

## 【0020】

【発明の効果】本発明の残飯収納袋は以上のような構成となっているので、以下に述べるような効果を奏する。

【0021】残飯を収納する収納袋本体と、この収納袋本体の開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部とからなっているので、この覆部を収納袋本体と共に残飯収納器具に取り付けるあるいは収納することにより、残飯を投入する際には、残飯収納器具の後ろと流し台の隙間を覆い、更に流し台の上部を覆うことができる。これにより、溢れた残飯を覆部で受け拾い残飯で流し台を汚すのを防ぐことができる。さらに普段は覆部で収納袋本体の開口部を覆い隠すことができ、残飯を視界から遮り、臭気の放散も抑制することができる。視覚的にも、臭気的にも衛生的な台所を演出しより快適生活を提供できる。特に、吸着盤部等の支持手段と該支持手段で支持される開口枠とからなる残飯収納器具は、支持手段を流し台と共に覆部で覆うことができるので、凹凸や溝や隙間ある支持手段への残飯とその汚れの付着を阻止することができ、汚れのない衛生的な支持手段を長い間にわたって維持することができる大変便利である。以下に述べる残飯収納袋の発明については、本効果と同一の効果を共通して得ることができるので、以下

の発明についてはその説明は省略する。

【0022】覆部が収納袋本体と一体成形されてなるものは、収納袋を安価に製造することができる。

【0023】収納袋本体の開口部上の後方側に形成された、該開口部や残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部を設けてなるものは、残飯収納器具への収納袋本体のセットが覆部のセットとなるので取り扱いが大変よい。

【0024】収納袋本体の開口部上に両側部が分離されて形成された、該開口部に被せ覆うことができる前方に位置する第1の覆部、前記収納袋本体の前記開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる後方に位置する第2の覆部とを設けてなるものは、第1の覆部は収納袋本体の前部に濡れることにより張り付き水切り穴等を塞ぎ、水切り穴からの臭気の放散を抑制する。

【0025】収納袋本体の開口部の上部に対向して形成された第1の帯部、第2の帯部と、この第1の帯部、第2の帯部の間に設けられた、前記収納袋本体の前記開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部と、この覆部と前記収納袋本体の間に設けられた、該覆部を該収納袋本体から容易に分離するための分離部とからなるものは、従来第1の帯部と第2の帯部を設けるためにカット屑として処理されていた部分を、カットすることなく覆部として有効利用でき、且カット屑をださないので生産性を高めることができる。

【0026】収納袋本体の上部に両側部を分離して該収納袋本体と一体的に成形された、前記収納袋本体の前記開口部や前記残飯収納器具の後方から流し台に被せ覆うことができる覆部と、この覆部の上部を接合してなる接合部と、前記覆部と前記収納袋本体の間に設けられた、該覆部を該収納袋本体から容易に分離するための分離部とを設けてなるものは、覆部の上部が接合部となっているので、覆部をこの接合部で2倍に広げて使用でき、覆部の原料を少なくできより安価なものを提供できる。

【0027】収納袋本体の開口部上部左右に第1の帯部、第2の帯部が設けられ、前記開口部下方を狭めるために該開口部の下方を接合部、接合部により接合してなり、さらに覆部を設けてなるものは、リング状の開口枠とこの開口枠を支持する吸着盤部等の支持手段とを有する残飯収納器具の該開口枠に取り付けて使用する残飯収納袋であるので、支持手段を覆部で覆い残飯で汚れるのを防止することができ大変便利である。

【0028】収納袋本体の前部分に水切り穴を設け、該収納袋本体の後部分に水切り穴を設けなる覆部付残飯収納袋は、収納袋本体の前部分を覆部で開口部とともに覆うことにより、水切り穴と開口部のほとんどを塞ぐことができ、残飯の臭気の放散をより確実に防止できる。前部分も覆部は当然水で濡れるので、水が切れば前部分に覆部が張り付き確実に水切り穴を塞ぐのである。収納

袋の素材が半透明の場合、覆部により前部が二重になるので残飯が見えないほどに隠され、臭気の放散の防止とあわせて台所から不潔感をなくしより衛生的な台所を演出する。

【0029】本発明の残飯収納器具は、覆部の上方を流し台に固定する磁石等の固定手段を設けているので、収納袋本体から分離した覆部をあらかじめ固定しておいて、収納袋本体と共に残飯収納器具に収納あるいは取りけられるので、取扱がし易くでき大変便利である。また、ラップや、ビニール袋や、アルミ箔などの既存のものでも、固定し容易に覆部として使用できるので経済的でもある。特に、覆部を流し台の縦壁に固定しなければならぬ使用条件のもとでは、覆部を垂れ下げるように縦壁にしっかりと固定できるので、覆部のセットが大変容易となり便利である。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例1を示す残飯収納袋の説明図。  
 【図2】本発明の実施例1の使用状態を示す斜視図。  
 【図3】本発明の実施例2を示す残飯収納袋の説明図。  
 【図4】本発明の実施例2の使用状態を示す斜視図。  
 【図5】本発明の実施例3を示す残飯収納袋の説明図。  
 【図6】本発明の実施例3の使用状態を示す斜視図。  
 【図7】本発明の実施例4を示す残飯収納袋の説明図。  
 【図8】本発明の実施例5を示す残飯収納袋の説明図。  
 【図9】本発明の実施例6を示す残飯収納袋の説明図。  
 【図10】本発明の実施例6の使用状態を示す側面図。  
 【図11】本発明の実施例6の他の使用状態を示す側面図。  
 【図12】本発明の実施例7を示す残飯収納袋の説明図。  
 【図13】本発明の実施例7の使用状態を示す斜視図。  
 【図14】本発明の実施例7の他の使用状態を示す側面図。  
 【図15】本発明の実施例8を示す残飯収納袋の説明図。  
 【図16】本発明の実施例8の使用状態を示す斜視図。  
 【図17】本発明の実施例8の使用状態を示す斜視図。  
 【図18】本発明の実施例9を示す残飯収納袋の説明図。  
 【図19】本発明の実施例9の使用状態を示す斜視図。  
 【図20】本発明の実施例10を示す残飯収納袋の説明図。  
 【図21】本発明の実施例10の使用状態を示す斜視図。  
 【図22】本発明の実施例10の使用状態を示す斜視図。  
 【図23】従来の残飯収納袋を示す説明図。  
 【図24】従来の残飯収納袋の使用状態を示す斜視図。  
 【図25】本発明の実施例11を示す残飯収納袋の説明図。

【図26】本発明の実施例12を示す残飯収納袋の説明図。

【図27】本発明の実施例13を示す残飯収納袋の正面図と背面図。

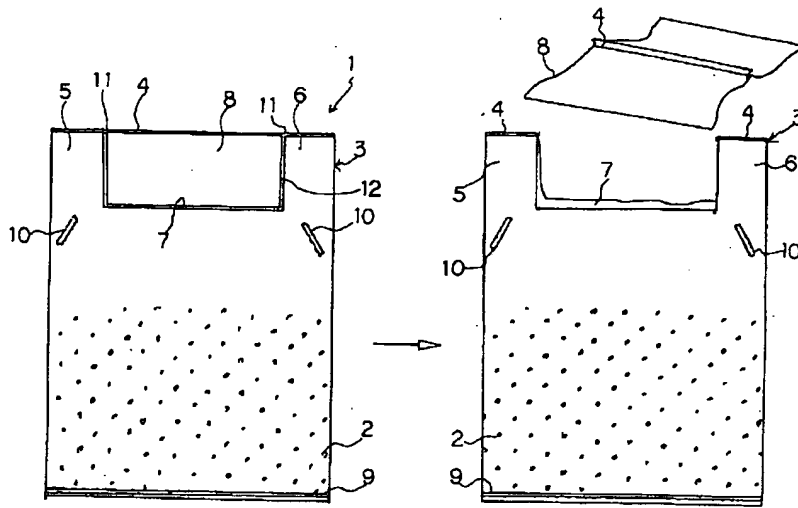
【図28】本発明の実施例13を示す残飯収納袋の斜視図。

#### 【符号の説明】

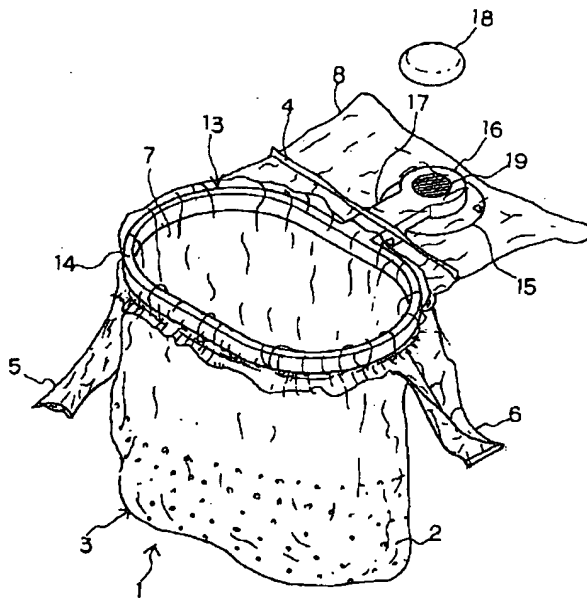
1 --- 残飯収納袋  
 2 --- 水切り穴  
 3 --- 収納袋本体  
 4 --- 上部接合部  
 5 --- 第1の帯部  
 6 --- 第2の帯部  
 7 --- 開口部  
 8 --- 覆部  
 9 --- 底部接合部  
 10 --- 接合部  
 11 --- 連結部  
 12 --- 分離部  
 13 --- 残飯収納器具  
 14 --- 開口枠  
 15 --- 吸着盤  
 16 --- 吸着盤部  
 17 --- 腕部  
 18 --- 磁石  
 19 --- 磁石くっつけ部  
 30 --- 残飯収納袋  
 31 --- 第1の帯部  
 32 --- 第2の帯部  
 33 --- 接合部  
 34 --- 残飯収納器具  
 35 --- 収納器具本体  
 36 --- 磁石  
 37 --- 開口部  
 38 --- 水切り穴  
 40 --- 残飯収納袋  
 41 --- 覆部  
 42 --- 覆部  
 43 --- 開口部  
 50 --- 残飯収納袋  
 51 --- 上部接合部  
 52 --- 側部分離部  
 53 --- 覆部  
 54 --- 分離部  
 55 --- 連結部  
 60 --- 残飯収納袋  
 61 --- 第1の帯部  
 62 --- 第2の帯部  
 63 --- 覆部  
 64 --- 接合部

65----	分離部	129----	杭
66----	分離部	130----	紐
70----	残飯収納袋	131----	挟み溝
71----	覆部	132----	挟みリング
72----	分離部	140----	開口部
73----	連結部	141----	開口枠
74----	接合部	142----	吸着盤部
75----	残飯収納器具	143----	残飯収納器具
76----	吸着盤	144----	残飯収納袋
77----	吸着盤部	150----	残飯収納袋
78----	開口枠	151----	折部
79----	腕部	152----	収納袋本体
80----	棒磁石	153----	前部分
81----	分離部	154----	後部分
82----	第1の覆部	155----	接合部
83----	第2の覆部	156----	覆部
90----	残飯収納袋	157----	折部
91----	覆部	160----	残飯収納袋
92----	分離部	161----	前部材
93----	第1の覆部	162----	後部材
94----	第2の覆部	163----	接続部
100----	残飯収納袋	164----	接続部
101----	覆部	165----	収納袋本体
110----	残飯収納袋	166----	覆部
111----	連結部	170----	残飯収納袋
112----	覆部	171----	折部
113----	分離部	172----	前部分
120----	残飯収納袋	173----	後部分
121----	覆部	174----	水切り穴
122----	残飯収納器具	175----	収納袋本体
123----	開口枠	176----	覆部
124----	吸着盤部	177----	分離部
125----	腕部	178----	第1の帯部
126----	吸着盤	179----	第2の帯部
127----	固定手段	180----	接合部
128----	はめ込み穴	181----	折部

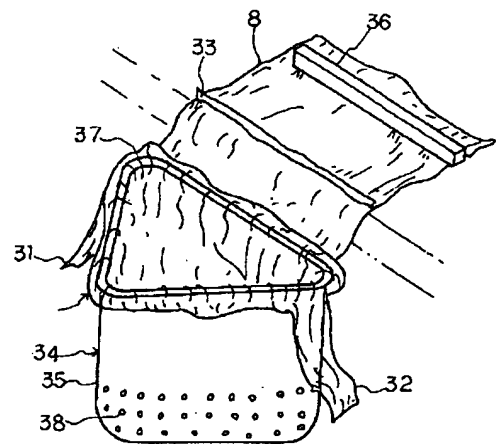
【図1】



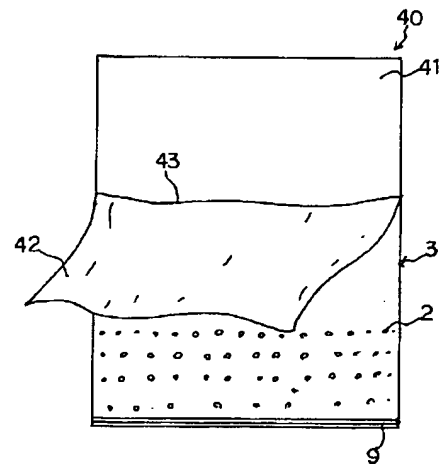
【図2】



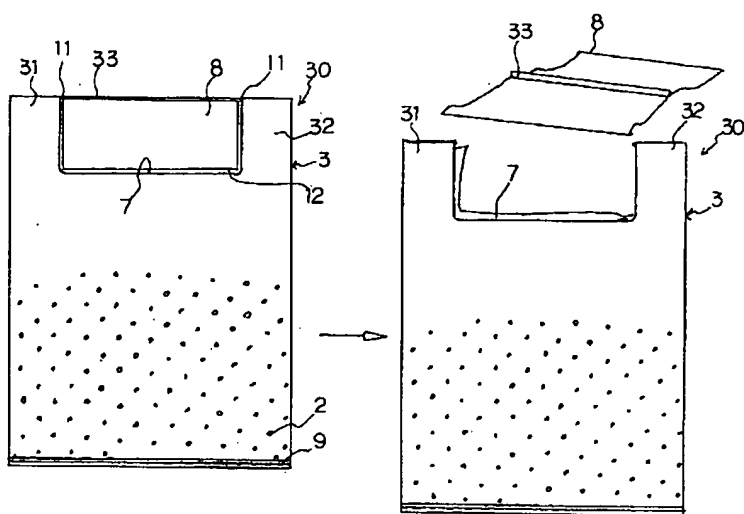
【図4】



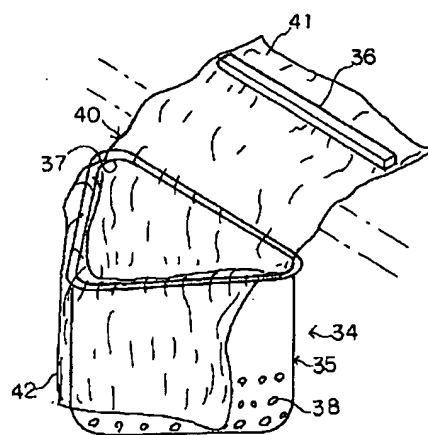
【図5】



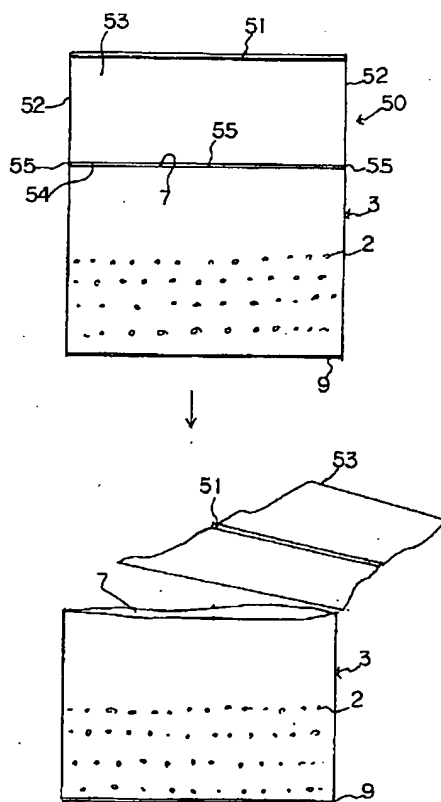
【図3】



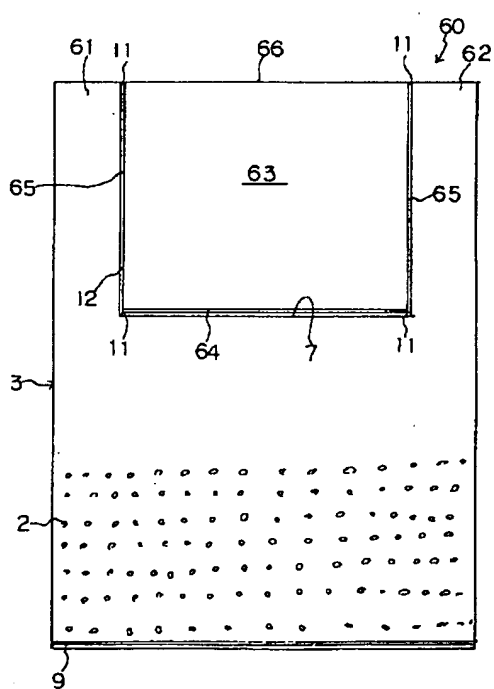
【図6】



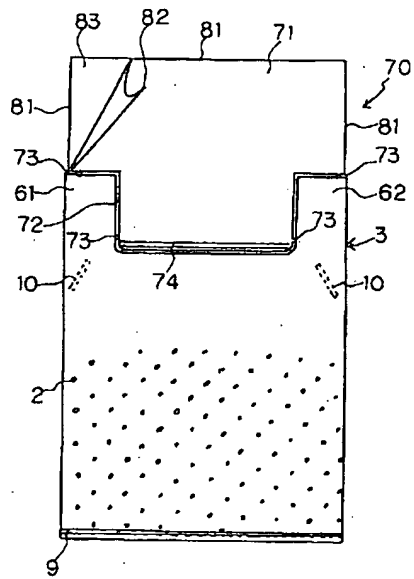
【図7】



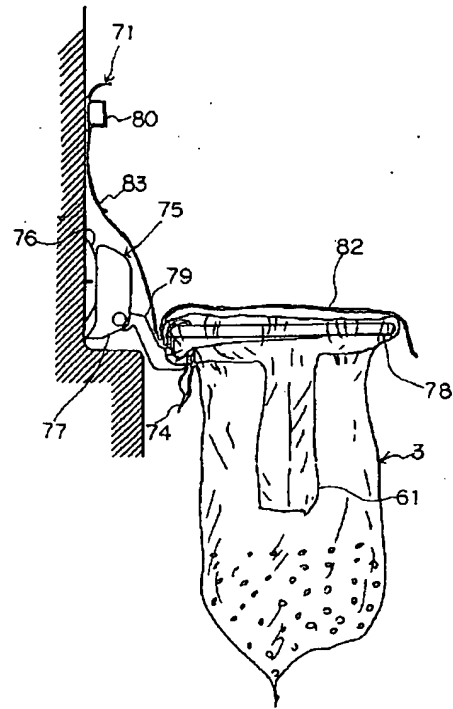
【図8】



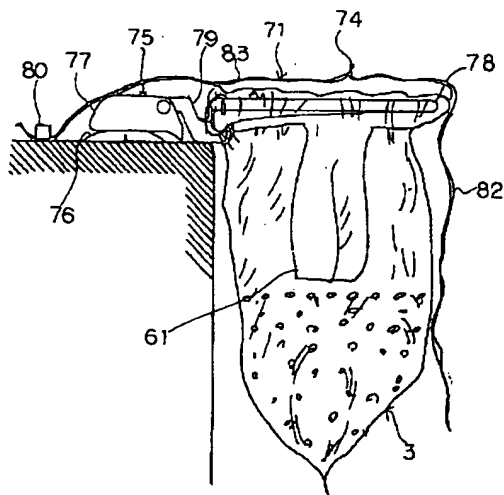
【図9】



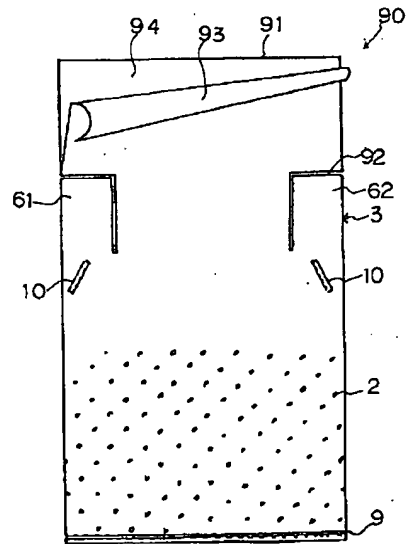
【図10】



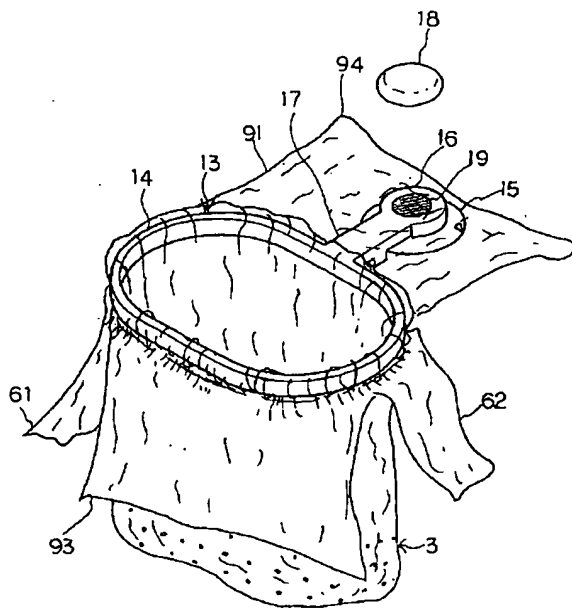
【図11】



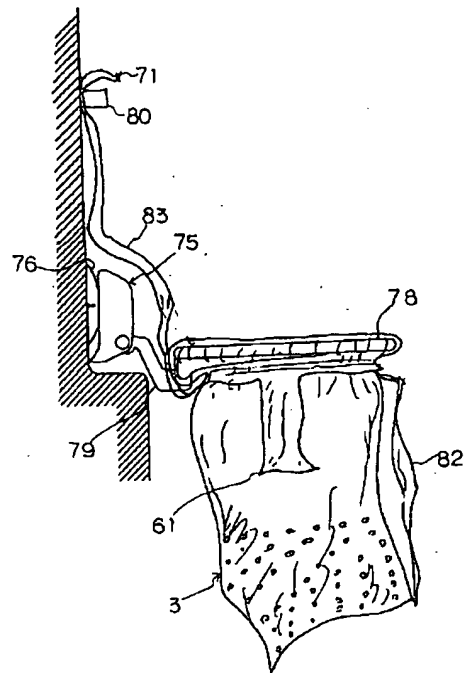
【図12】



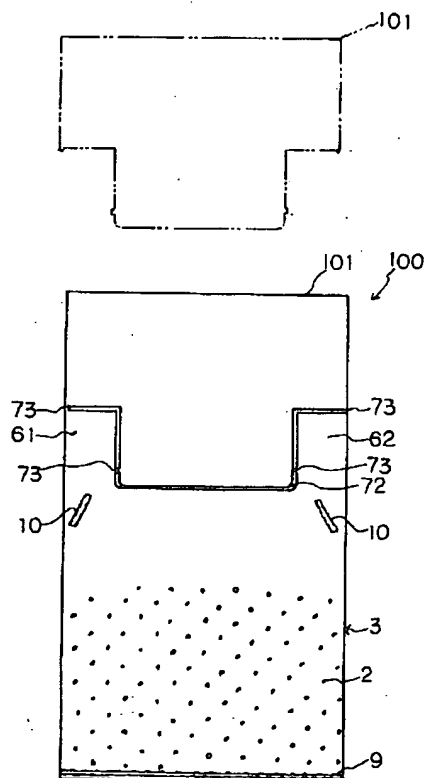
【図13】



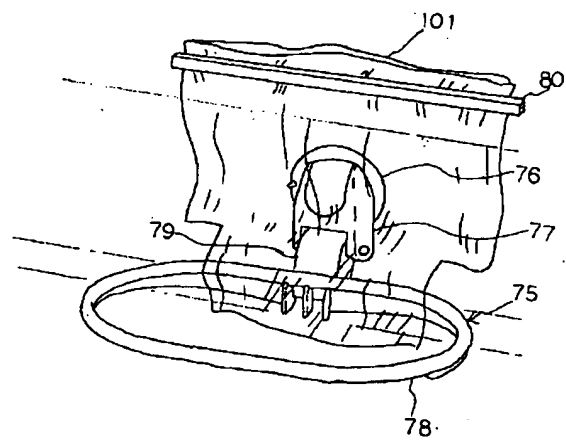
【図14】



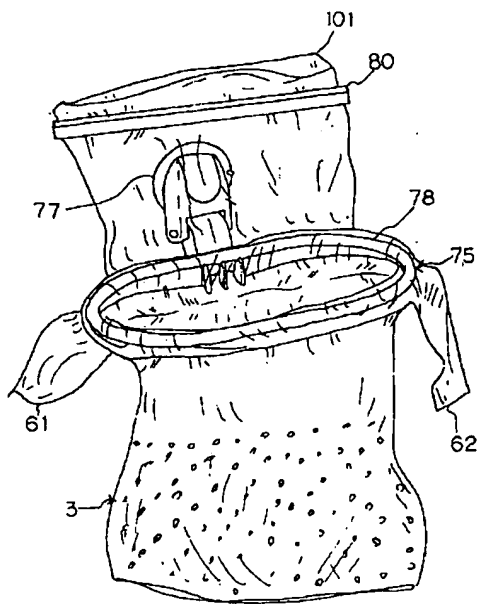
【図15】



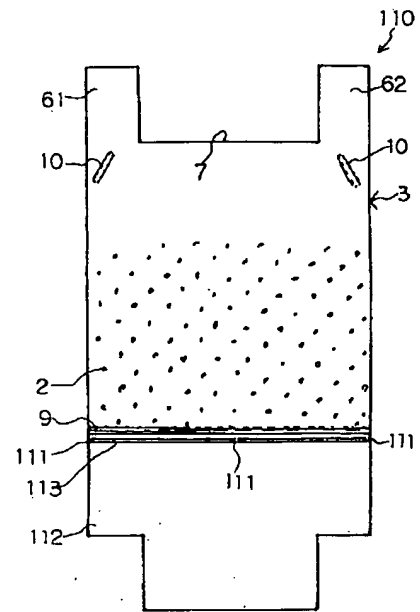
【図16】



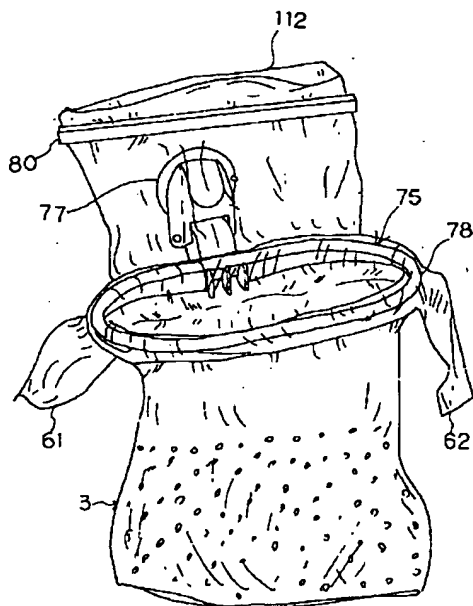
【図17】



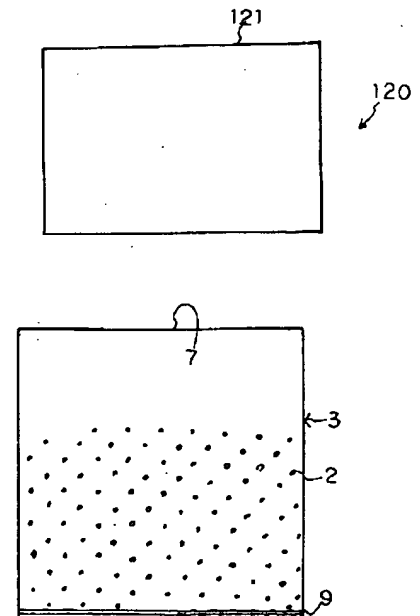
【図18】



【図19】

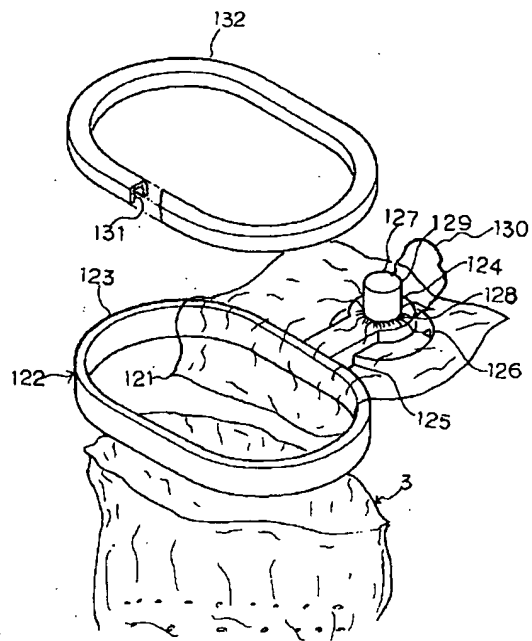


【図20】

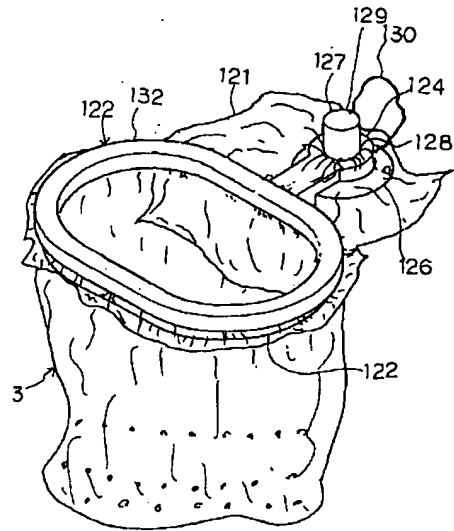




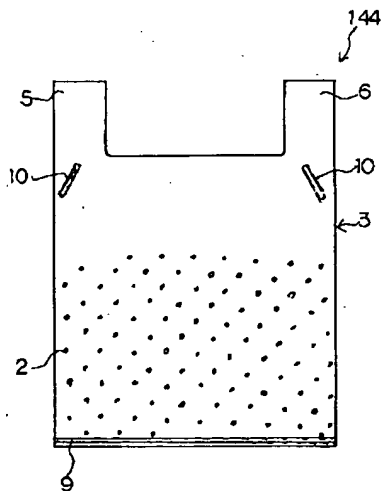
【図 2 1】



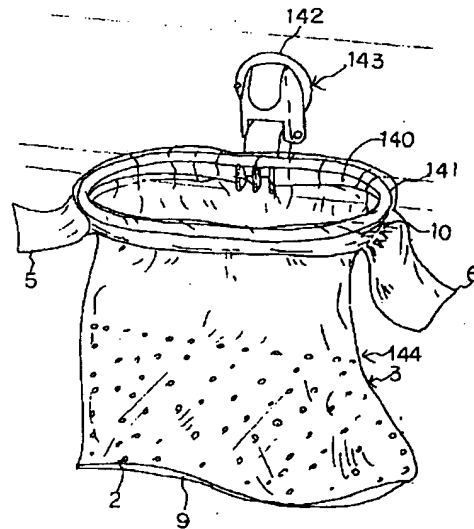
【図 2 2】



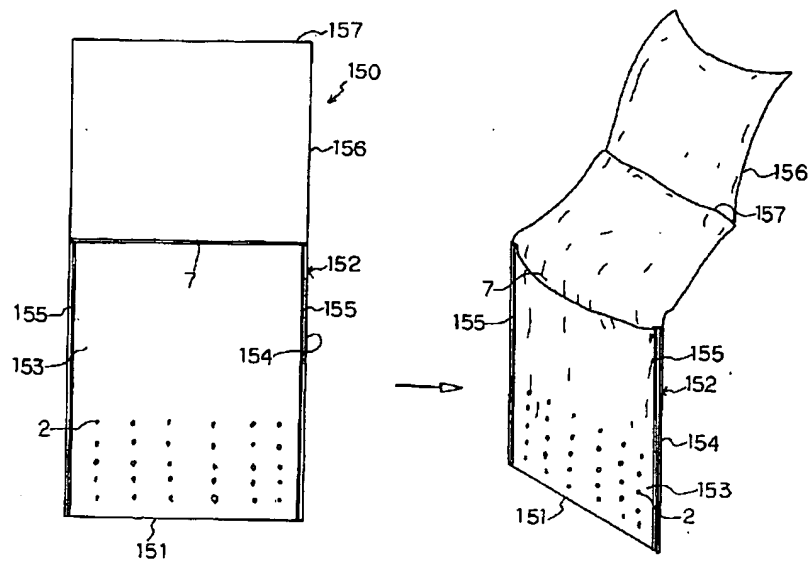
【図 2 3】



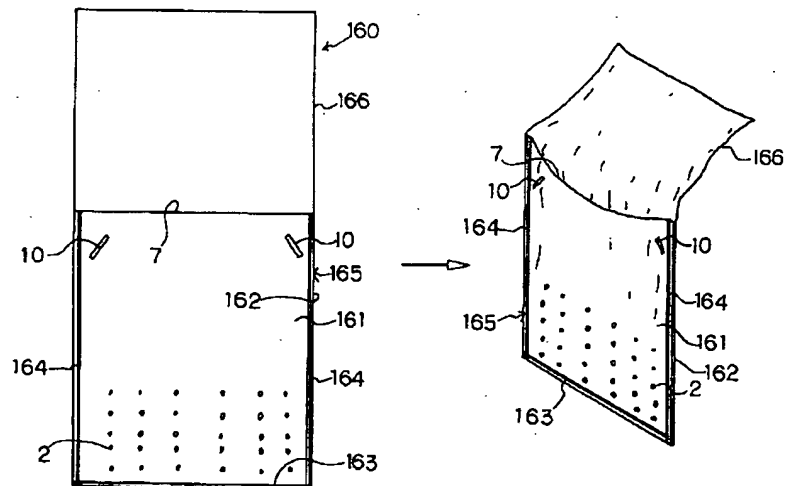
【図 2 4】



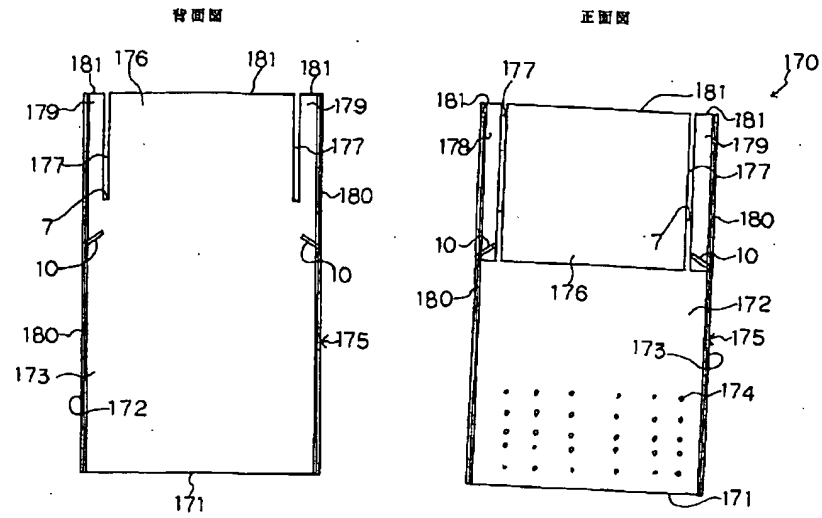
【図25】



【図26】



【図27】



【図28】

